

平成26年行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	独立行政法人放射線医学総合研究所運営費交付金に必要な経費		担当部局	復興庁	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成32年度(予定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人放射線医学総合研究所法第14条		関係する計画、通知等	放射線医学総合研究所中期目標、がん研究10か年戦略、がん対策推進基本計画、原子力政策大綱、原子力の重点安全研究計画、防災基本計画、緊急被ばく医療の在り方について、福島復興再生基本方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	放射線医学総合研究所は、放射線と人々の健康に関わる総合的な研究開発に取り組む国内で唯一の研究機関であり、東日本大震災において発生した原子力発電所事故に伴う放射線に対する福島県住民や復旧作業員等の不安軽減に貢献すると共に、国民の「安全」、「安心」にも貢献することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	放射線による長期的な被ばく影響を評価し、その低減方策を提示するため、長期被ばくのメカニズム解明等に向けた研究を強化する一方、原子力発電所事故の復旧作業員等の健康追跡調査や、緊急被ばく医療研究の充実に向けた取組を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	572	469	469
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	-	-	572	469	469
	執行額	-	-	572	-	-	
執行率(%)	-	-	100.0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)
	福島県の医師や救急隊員等を対象とした被ばく医療に関する研修及び自治体職員・教員などに対する放射線の基礎研修等における受講者からの研修に対する評価点(満点は100点)。	成果実績	点	-	-	84.6	-
		目標値	点	-	-	-	70
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	福島県の医師や救急隊員等を対象とした被ばく医療に関する研修や自治体職員・教員などに対する放射線の基礎研修等を行う。	活動実績	/	-	-	-	-
		当初見込み	回	-	-	-	7
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	(独)放射線医学総合研究所の事業を実施する上で必要な運営費交付金であるため、単位あたりのコストの算出は困難。	単位当たりコスト	/	-	-	-	-
		計算式	/	-	-	-	-
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人放射線医学総合研究所運営費交付金	469百万円	469百万円				
	計	469百万円	469百万円				

事業所管部局による点検・改善													
	項目	評価	評価に関する説明										
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	放射線医学総合研究所は、放射線と人々の健康に関わる総合的な研究開発に取り組む国内で唯一の研究機関であり、本事業は、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う放射線に対する住民等の不安軽減に貢献すると共に、国民の「安全」、「安心」にも貢献する重要な事業である。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	—											
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○											
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	「随意契約等の見直し計画」(平成22年4月)を踏まえ、引き続き仕様書マニュアルによる仕様書の事前チェック等により競争性のない随意契約や1者応札の縮減による契約の適正化に努めた。 文部科学省所管の研究開発法人8法人で構成する研究開発調達会合での検討結果を踏まえ、参加者確認公募による調達を行う等、競争性・透明性を確保しつつ、事業の効率化に努めた。なお、補助金の交付決定に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っているところである。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—											
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—											
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○											
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○											
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—											
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	放射線医学総合研究所においては、各研究分野毎にセンター制を敷いており、各センター長が研究のマネジメント管理を行うとともに、年に1回、外部有識者を含めての自己評価及び独立行政法人評価委員会の場において研究の進捗状況について報告しており、着実に実施されている。										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○											
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○											
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名								
点検・改善結果	点検結果	文部科学省所管の研究開発法人8法人で構成する研究開発調達検討会合での検討結果を踏まえ、ベストプラクティスの抽出・実行に向けた取組として参加者確認公募による調達を行っており、引き続き事業の効果的・効率的な実施に努めるべき。											
	改善の方向性	平成25年度事業に対する年度評価において、中期目標・中期計画に沿った研究の進捗状況について検討しており、その結果を来年度の事業運営に反映していく必要がある。											
外部有識者の所見													
点検対象外													
行政事業レビュー推進チームの所見													
現状通り	放射線に対する福島県住民や復旧作業員等の不安軽減を図ることは、原子力発電所事故による被災地の復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
現状通り	事業の目的である、原子力発電所事故に伴う放射線に対する福島県住民や復旧作業員等の不安軽減に貢献すると共に、国民の「安全」、「安心」にも貢献する目的の達成に向け、引き続き効率的・効果的な執行に努めていく。												
備考													
<p>○放射線医学総合研究所は、ビキニ環礁、第五福竜丸事件を背景に、世界で唯一の被ばく国である我が国において象徴的に設置された研究機関である。これまでの、JCO事故などにより被ばくした患者の受け入れや、20年間で8000名を越す重粒子線がん治療さらに、放射線医学の分野における、日本で唯一、かつ世界をリードする研究機関として、IAEAやWHOなどの国際機関の強力なパートナーとなるなど、様々な活動を行っている。</p> <p>○原子力発電所事故対応として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年3月11日に起きた東日本大震災によって発生した東電福島第一原子力発電所事故に伴い、事故復旧作業に従事している作業員等に対する医療活動、ならびに住民の方のスクリーニングに対応するための被ばく医療等の専門家派遣、さらに警戒区域への一時立入に医師、放射線管理の専門家らを派遣する等、万全の体制で臨めるよう支援している。</li> <li>・事故復旧作業に従事している作業員等に対し、放射線測定を実施し、三次被ばく医療機関として、復旧作業中において被ばくした患者に対して適切な治療を行うなどの活動を継続している。</li> <li>・福島県住民の方のみならず全ての国民の方に対して、放射線に関する健康相談を電話で受け付けられる窓口を設置し、平成26年3月までに約19600件を超える相談を受けた。さらに、放射線被ばくに関する不安等に応えるため、各地で開催される講演等に講師として専門家を派遣している。</li> <li>・また、福島県が実施する県民健康管理調査などの諸活動についても国などの関係機関と協力してその活動を支援しているところである。</li> </ul>													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
平成23年		平成24年	平成25年	新25-025									

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**復興庁**  
572百万円

文部科学省へ移替え

**文部科学省**  
572百万円

事業概要  
独立行政法人放射線医学総合研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付

〔交付〕

**【A】(独)放射線医学総合研究所**  
572百万円(運営費交付金部門)

事業概要  
東日本大震災からの復旧・復興に資するため、放射性核種の環境動態及び長期被ばくの健康影響メカニズムの解明、緊急被ばく医療等を実施する。

**【A】独立行政法人放射線医学総合研究所** 572百万円

一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争	一般競争
<p><b>【A-1】</b> ・自動細胞分離解析装置一式 ・(株)薬研社 ・93百万円</p>	<p><b>【A-2】</b> ・被ばく関連情報管理システムのサービス機能及び認証機能の向上 ・富士通(株) ・84百万円</p>	<p><b>【A-3】</b> ・高周波誘導結合プラズマ質量分析装置システム ・東京電気産業(株)千葉支店 ・36百万円</p>	<p><b>【A-4】</b> ・電気冷却式可搬型ゲルマニウムスペクトロメータシステム ・セイコー・イージーアンドジー(株) ・23百万円</p>	<p><b>【A-5】</b> ・高周波誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-OES)一式 ・(株)池田理化 ・21百万円</p>	<p><b>【A-6】</b> ・復旧作業員などのフォローアップシステム整備 ハードウェアの保守 ・ネットワークシステムズ(株) ・15百万円</p>	<p><b>【A-7】</b> ・ガンマ線スペクトル解析教育システムの更新 ・セイコー・イージーアンドジー(株) ・12百万円</p>	<p><b>【A-8】</b> ・オールインワン蛍光顕微鏡システム(暗室不要型) ・(株)池田理化 11百万円</p>	<p><b>【A-9】</b> ・被ばく医療共同研究施設 廃棄物処理設備焼却炉等の老朽化対策工事における放射線安全管理業務請負 ・東京ニュークリア・サービス(株) ・10百万円</p>	<p><b>【A-10】</b> ・ゲルマニウム半導体検出器教育システムの更新 ・セイコー・イージーアンドジー(株) ・8百万円</p>
<p>事業概要 東京電力福島第1原子力発電所周辺地域の環境における放射線影響に関する調査として、対象生物の細胞、染色体等を分離解析するための装置の購入</p>	<p>事業概要 既存インフラ上に複数の被ばく関連情報管理サービスを構築することで被ばく関連情報管理システムとして利用するための機能向上及びサービスの構築</p>	<p>事業概要 多様な組成の資料に対して測定上の妨害を安定して除去可能なシステムを備えた高周波誘導結合プラズマ質量分析装置システムの購入</p>	<p>事業概要 環境放射線を測定するために、モニタリングカー周囲から入射するガンマ線のエネルギースペクトルを計測するシステムの購入</p>	<p>事業概要 主要な安定元素及び塩素濃度を測定するための装置の購入</p>	<p>事業概要 復旧作業員などのフォローアップシステム等のインフラ基盤の保守作業</p>	<p>事業概要 研修業務(ガンマ線エネルギースペクトル解析)におけるスペクトル解析教育に用いるシステムの購入</p>	<p>事業概要 非染色3次元細胞コロニー位相差顕微鏡像及び蛍光多重染色細胞像の広域画像取得及び画像の定量解析等に用いるシステムの購入</p>	<p>事業概要 被ばく医療共同研究施設 廃棄物処理設備焼却炉等の老朽化工事に伴う放射線安全管理業務</p>	<p>事業概要 研修業務(ガンマ線エネルギースペクトル解析)におけるゲルマニウム半導体検出器教育に用いるシステムの購入</p>

表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない場合があります。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.(独)放射線医学総合研究所			A-4.セイコー・イージーアンドジー(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	自動細胞分離解析装置一式の購入、関連システムの更新など	510	事業費(物件費)	電気冷却式可搬型ゲルマニウムスペクトロメータシステム	23
事業費(人件費)	事業系人件費	62			
事業費(退職手当等)	事業系職員の退職手当	1			
計		572	計		23
A-1.(株)薬研社			A-5.(株)池田理化		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	自動細胞分離解析装置一式	93	事業費(物件費)	高周波誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-OES)一式	21
計		93	計		21
A-2.富士通(株)			A-6.ネットワンシステムズ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	被ばく関連情報管理システムのサービス機能及び認証機能の向上	84	事業費(物件費)	復旧作業員などのフォローアップシステム整備ハードウェアの保守	15
計		84	計		15
A-3.東京電気産業(株)千葉支店			A-7.セイコー・イージーアンドジー(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費(物件費)	高周波誘導結合プラズマ質量分析装置システム	36	事業費(物件費)	ガンマ線スペクトル解析教育システムの更新	12
計		36	計		12

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A-8.(株)池田理化					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	オールインワン蛍光顕微鏡システム(暗室不要型)	11			
計		11	計		0
A-9.東京ニュークリア・サービス(株)					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	被ばく医療共同研究施設 廃棄物処理設備焼却炉等の老朽化対策工事における放射線安全管理業務請負	10			
計		10	計		0
A-10.セイコー・イージーアンドジー(株)					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費(物件費)	ゲルマニウム半導体検出器教育システムの更新	8			
計		8	計		0
A-11. (株) 池田理化					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・用途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と用途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

表示単位未満は四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない場合があります。

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)薬研社	東京電力福島第1原子力発電所周辺地域の環境における放射線影響に関する調査として、対象生物の細胞、染色体等を分離解析するための装置の購入	93	2	※
2	富士通(株)	既存インフラ上に複数の被ばく関連情報管理サービスを構築することで被ばく関連情報管理システムとして利用するための機能向上及びサービスの構築	84	2	※
3	東京電気産業(株)千葉支店	多様な組成の資料に対して測定上の妨害を安定して除去可能なシステムを備えた高周波誘導結合プラズマ質量分析装置システムの購入	36	1	※
4	セイコー・イージーアンドジー(株)	環境放射線を測定するために、モニタリングカー周囲から入射するガンマ線のエネルギースペクトルを計測するシステムの購入	23	1	※
5	(株)池田理化	主要な安定元素及び塩素濃度を測定するための装置の購入	21	1	※
6	ネットワンシステムズ(株)	復旧作業員などのフォローアップシステムのハードウェア等のインフラ基盤の保守作業	15	1	※
7	セイコー・イージーアンドジー(株)	研修業務(ガンマ線エネルギースペクトル研修)におけるスペクトル解析教育に用いるシステムの購入	12	1	※
8	(株)池田理化	非染色3次元細胞コロニー位相差顕微鏡像及び蛍光多重染色細胞像の広域画像取得及び画像の定量解析等に用いるシステムの購入	11	2	※
9	東京ニュークリア・サービス(株)	被ばく医療共同研究施設廃棄物処理設備焼却炉等の老朽化工事に伴う放射線安全管理業務	10	1	※
10	セイコー・イージーアンドジー(株)	研修業務(ガンマ線エネルギースペクトル研修)におけるゲルマニウム半導体検出器教育に用いるシステムの購入	8	1	※

表示単位未満は四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない場合があります。

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表。